

NEWS RELEASE

「想いを伝えるもの—和歌、手紙—」を開催します

～国宝「松浦屏風」「寝覚物語絵巻」も出陳します～

近鉄グループの文化事業である大和文華館では、2026 年 4 月 16 日（木）から 5 月 24 日（日）まで、「想いを伝えるもの—和歌、手紙—」を開催いたします。

本展では大和文華館所蔵品の中から、古より想いを伝える手段として用いられてきた和歌と手紙に関連する作品を集めて展覧します。古人のしるした書跡や歌物語を描いた絵画、そして歌人の姿を描いた歌仙図など、和歌と美術は深く結びつき、ともに愛されてきました。また、古人の書簡も、したためた人物の個性があらわれたものとして珍重されてきました。書簡の中には体調や心情を綴った内容も時折見られ、古人の生きた日常が垣間見える面白さがあります。

そして、平戸藩松浦家に伝来したことから「松浦屏風」の愛称でも親しまれている国宝「婦女遊楽図屏風」には、手紙をしたためている様子の女性が描かれています。それだけではなく、手紙を受け取ったり読んだりしている女性も描かれており、「松浦屏風」において手紙が重要なモチーフであったことがうかがえます。人びとが想いを託してきた和歌と手紙の様相を美術品から見ていく展覧会です。

詳細は別紙のとおりです。



国宝 婦女遊楽図屏風（松浦屏風 左隻）
江戸時代前期



小倉色紙「天の原」
鎌倉時代

別紙

<1> 展覧会詳細について

1. 名称 想いを伝えるもの—和歌、手紙—
2. 会期 2026年4月16日（木）～5月24日（日）
3. 休館日 毎週月曜日（ただし5月4日〈祝〉は開館し、5月7日〈木〉が休館）
4. 開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
5. 入館料 一般 630円、高校・大学生 420円、小学・中学生 無料
6. 主催 大和文華館
7. 出陳品数 44件

主な展示作品 ●＝国宝 ◎＝重要文化財

〈和歌を彩る書と料紙〉

桂本万葉集断簡（梅尾切） 平安時代中期

伊勢集断簡（石山切） 平安時代後期

〈勅撰和歌集の版本〉

古今和歌集 宝暦九年版 江戸時代後期

〈物語のなかの和歌〉

伊勢物語下絵梵字経 鎌倉時代

源氏物語図帖 伝土佐光吉筆 桃山時代

〈歌人の姿〉

◎佐竹本三十六歌仙絵断簡（小大君像） 鎌倉時代

三十六歌仙絵敦忠像 伝岩佐又兵衛筆 江戸時代前期

〈古人の手紙〉

書状（桑山重晴宛） 近衛信伊筆 桃山時代

書状（酒井若州宛） 小堀遠州筆 江戸時代前期

〈美人図と手紙〉

●寝覚物語絵巻 平安時代後期

●婦女遊楽図屏風（松浦屏風） 江戸時代前期

漆絵美人図 中西松山筆 江戸時代後期

〈富岡鉄斎の手紙〉

葉書（明治43年9月18日付） 富岡鉄斎筆

書状（大正元年12月29日付） 富岡鉄斎筆

＜２＞ 展覧会会期中のイベントについて

１．特別講演「古筆をもっと楽しむために」

- （１）日時・場所 ５月３日（日）午後２時から講堂にて
- （２）講師 根津美術館 顧問 松原茂氏

２．日曜美術講座「遊女と手紙一文書く女の姿」

- （１）日時・場所 ５月１７日（日）午後２時から講堂にて
- （２）講師 大和文華館学芸員 仁方越洪輝

３．講座 美術の窓

連続講座「江戸後期の浮世絵」

第１回「歌川豊国…歌川王国の礎を築く」

- （１）日時・場所 ４月１９日（日）午後２時から講堂にて
- （２）講師 大和文華館館長 浅野秀剛

４．列品解説

- （１）日時・場所 毎週土曜日午後２時から展示場にて
- （２）解説 大和文華館 学芸部

５．無料招待デー ５月８日（金）

※１～４のイベントは参加無料ですが、入館料が必要です。

※講堂の最大定員は 100 名です。（先着順）

以 上